２０１９年度　学校図書館全体計画

新潟市立東石山中学校

関係法規等

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

教育目標

自ら学び　広い心で　心身を鍛える生徒

生徒の実態

- 人懐こく、素直な生徒が多い。
- 目標をもち、自ら考えて行動する経験が不足している。
- 自尊感情が低い生徒が少なくない。

具体的な生徒の姿

① 何事にも前向きな思いをもって、主体的に粘り強く取り組む生徒（自主）
② 協働して課題解決を目指す生徒（協働）
③ よりよいものを創造していく生徒（創造）

２０１９年度の重点目標

○ めあてや目標を明確にし、その達成に向けて活動したり自分で考え判断して行動したりする姿を具現する。
○ 自らの学びの足跡とよさを振り返り、成長を確かめながら、自ら自尊感情を育んでいく姿を具現する。

図書館教育の目標

○ 図書館の適切な利用の仕方を身につけ、必要な情報を得ることのできる生徒を育てる。
○ 進んで読書に親しむ生徒を育てる。

各教科

- 必要な本や資料を選び、学習に利用することができる。
- 図書館の資料を利用して、学習を広げたり深めたりする。

道徳

- さまざまな資料を通して多様な価値観があることを知り、互いに認め合ったり、折り合いをつけていこうとしたりする。

特別活動

- 図書館を活用する時間をとおして、読書に親しむ。
- 委員会の企画により、生徒自ら読書をしようとする。

総合的な学習

- 必要な情報を取捨選択して活用することにより、思考を深めたり広げたりすることができる。

具体的な取組内容

図書館運営	「読書センター」としての機能	「学習情報センター」としての機能
・蔵書の充実 ・図書館内外の環境整備 ・司書と教科担任の連携 ・委員会活動の活性化 ・図書館便りの発行 ・関係機関との連携	・朝読書の実施 ・学級文庫の管理 ・国語科との連携による読書活動の推進 ・委員会や便りを通じた情報発信 ・委員会によるイベントをとおした図書館利用の促進	・図書館オリエンテーションの実施 ・教科担任との連携による迅速な資料の収集 ・レファレンスサービスの充実 ・調べ学習への支援

図書館教育の年間指導計画

学年・学級経営、地域との連携